

情報公開文書

研究の名称	認知的柔軟性とユーモア表出・理解の関係性の検討
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学 ならびに 学校法人樟蔭学園 大阪樟蔭女子大学
研究責任者	大阪樟蔭女子大学学芸学部心理学科・教授・辻弘美
研究の概要	<p>【研究対象者】 18歳以上の男女</p> <p>【研究の目的・意義】 ユーモアの産出が創造性と関連することが知られている(O'Quin, & Derks, 1997)。本研究は、ユーモアと創造性に共通する要因を明らかにする(研究申請者の科研費(C)課題の一部)ための予備的資料を得ることを目的とした調査である。</p> <p>創造性には、認知的な側面として拡散的思考や収束的思考が古くから取り上げられている。拡散的思考や、収束的思考は一見すると相反する思考プロセスが関わっているように見えるが、本研究では、これらに共通している認知機能として柔軟性に着目した。</p> <p>ユーモアについては、ユーモアの産出のみを扱った研究が多く、ユーモア産出には言語能力の個人差が交絡している可能性は否めない。そこで、ユーモアに関する経験の記述を設定した質問項目への評定をもとに、ユーモアの産出や理解についての傾向の個人差を測定することとした。</p> <p>これまでは実験課題の遂行を通して測定されてきたユーモアや創造性の研究が中心であったが、質問紙形式による自己評定から得られたデータに基づいて、効率的に大きなサンプルを用いて、ユーモアと認知的柔軟性の関係について仮定モデルの検証を行う。</p> <p>O'Quin, K., & Derks, P. (1997). Humor and creativity: A review of the empirical literature. Creativity research handbook, 1, 223-252.</p> <p>【研究の方法】</p> <p>・収集の方法</p> <p>ユーモア理解と表出、認知的柔軟性の測定のために作成したオンラインアンケートへの協力案内を配布する。オンラインアンケート上の研究概要説明後、協力に同意を得られたものに質問項目への回答を求める。オンラインアンケートは、個人を特定する情報は収集しない。また大学生に依頼する場合は、大学講義終了後の時間に研究協力についての説明を行い、回答は授業以外の任意の時間に行うものとする。</p> <p>・収集する場所</p> <p>説明：富山大学講義室、大阪樟蔭女子大学講義室、幼児教育機関(こども園、幼稚園、保育園)</p> <p>データ収集：オンラインアンケートにアクセス可能な場所で各自に都合がよいところ</p> <p>【研究期間】 実施許可日～2026年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】</p>

	研究成果は国内外の心理学関連の学会発表、学術論文で発表されますが、その際も個人を特定できる個人情報は利用しません。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	ユーモア理解と表出のスコア、認知的柔軟性のスコア、年齢、性別（大阪樟蔭女子大学との共同データとして収集する）
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	機関：大阪樟蔭女子大学 803 研究室 責任者：辻 弘美・教授 機関：富山大学公衆衛生学講座研究室 責任者：稲寺 秀邦・教授
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	機関：大阪樟蔭女子大学 責任者：竹村 一夫・学長 機関：国立大学法人富山大学 責任者：齋藤 滋・学長
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 TEL: 06-6723-8181 FAX:06-6723-8302 E-MAIL tsuji.hiromi@osaka-shoin.ac.jp 大阪樟蔭女子大学 学芸学部 心理学科 辻 弘美・教授 TEL:076-434-7278 FAX:076-434-5023 E-MAIL d2062003@med.u-toyama.ac.jp 富山大学 医学薬学教育部 生命・臨床医学専攻 公衆衛生学講座 井上 真理子・博士課程